

まつど議会だより

発行／松戸市議会
編集／広報委員会
千葉県松戸市根本387-5
TEL 047(366)7382



松戸市議会の情報はホームページからもご覧いただけます。(https://www.city.matsudo.chiba.jp/gikai/index.html) 右のQRコードもご利用ください。



第71代副議長
しげ や つよ し
渋谷 剛 士



第69代議長
いち かわ けい いち
市川 恵 一

市民の皆さまには、平素より市議会に對しましてご理解とご協力をいただいておりますことに、心より御礼申し上げます。私たち両名は、令和3年12月定例会におきまして議長・副議長に就任いたしました。

松戸市民の代表である市長及び議会の議員は、市民が地方公共団体の長及びその議会の議員を直接選挙するという二元代表制の下、それぞれ市民の負託に応える責務を負っております。市政が適切な方向へ進むよう冷静に見極めながら、議会内の合意形成を図る調整役として、その職責を全うしてまいります。

私たち市議会議員には、松戸市の重要な課題に對し的確な判断が求められていると感じております。これからも市民の皆さまの声を真摯に受け止め、議会としての責任を果たしてまいりますので、引き続きのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

議長・副議長 就任のご挨拶



東松戸複合施設 ひがまつテラスがオープンしました!



松戸市立図書館 (東松戸地域館)
図書館東部分館が拡張移転



東松戸支所
東部支所から名称変更し移転



青少年プラザ (中高生の居場所)
新規オープン

東松戸駅近くに、図書館・支所・青少年プラザといった公共サービス機能を集約した複合施設がオープンしました。愛称である「ひがまつテラス」には、住民の憩いの場となるテラスのような存在になってほしいという願いが込められています。

- 問い合わせ先 松戸市立図書館 TEL 047(365)5115
- 東松戸支所 TEL 047(703)0610
- 青少年プラザ TEL 047(703)0620

市議会トピックス

令和3年度松戸市一般会計 補正予算(第7~9回)を可決

補正額	第7回	△7億6,355万2千円
	第8回	32億8,757万5千円
	第9回	5,318万1千円

12月定例会

令和3年12月定例会を11月30日から12月15日まで開催しました。今定例会では、初日に市長から提出された専決処分1件の報告を承認し、公平委員会委員の選任議案1件、人権擁護委員候補者の推薦議案3件それぞれに同意しました。

本会議5日目には、3年度補正予算案のうち1件を可決しました。

このほか市長から提出された補正予算を含む一般議案17件を、それぞれの委員会において審査しました。

最終日には、これらの案件のほかに議員提出議案7件を上程し、採決しました。

また議長および副議長選挙、建設経済常任委員長、議会運営委員長の内選を行いました。

(2面に審議結果、2・3面に主な質疑を掲載)

なお35人の議員が市政に関する一般質問を行いました。

北朝鮮による日本人拉致問題に対する理解を深めるための取組みを推進する決議

1970年代から1980年代にかけ、多くの日本人が不自然な形で行方不明となり、日本の当局による捜査や亡命北朝鮮工作員の証言により、これらの事件の多くは北朝鮮による拉致の疑いが濃厚であることが明らかになった。

2002年9月の第1回日朝首脳会談において、北朝鮮当局は初めて拉致を認め謝罪し、再発防止を約束した。同年10月には、5名の拉致被害者が24年ぶりに帰国したものの、残りの安否不明の方々については、2004年5月の第2回日朝首脳会談において、北朝鮮側から、直ちに真相究明のための徹底した調査を再開する旨の明言があったにもかかわらず、未だに北朝鮮当局から納得できる説明がされていない。

日本政府は、これまでに、帰国した5名を含む17名を北朝鮮当局による拉致被害者として認定しているが、この他にも、日本国内における日本人以外(朝鮮籍)の拉致容疑事案や「いわゆる特定失踪者も含め拉致の可能性を排除できない事案がある。」とし、拉致の可能性を排除できない失踪者は約900名近くいると言われている。残された被害者たちは、今なお全ての自由を奪われ、長きにわたり北朝鮮に囚われたままの状態、現在も救出を待っている。

北朝鮮による拉致被害者の御家族は、愛する家族を取り戻すため、懸命な活動を続けており、1997年に拉致被害者の御家族により「北朝鮮による拉致被害者家族連絡会(家族会)」、2017年には特定失踪者(拉致の疑いのある失踪者)の御家族により「特定失踪者家族会」を結成している。被害者の救出を求める運動が展開され、2021年10月末現在では1,500万筆を超える署名が総理大臣に提出されている。

国においては、北朝鮮による日本人拉致問題は、我が国の主権及び国民の生命と安全に関わる重大な問題であり、国の責任において解決すべき喫緊の重要課題と位置付けており、国交正常化を実現すべく取り組んでいるが、その解決のためには、幅広い国民各層の理解と支持が不可欠であり、認識を深めることが求められている。このため、これまで拉致問題について触れる機会の少なかった若い世代の方々への理解促進が重要であるとの認識のもと、内閣官房拉致問題対策本部及び文部科学省では「北朝鮮当局による拉致問題に関する映像作品等の活用促進について」の文書を発出し、児童生徒が拉致問題について深く認識し、人権問題として考える契機とするため、アニメ「めぐみ」及び映画「めぐみ」の学校等における上映を促進するように、教育委員会を通じて学校等の関係機関に周知することが求められたところである。さらに、拉致問題解決のために自分に何ができるのか、深く考えることを目的として政府が毎年実施している全国の中高生を対象とした北朝鮮人権侵害問題啓発週間作文コンクールもあり、こうした取組みにも積極的に関与することが求められる。

よって、本市議会は、一日も早い拉致被害者全員の救出に向けて、北朝鮮による日本人拉致問題に対する理解を深めるための取組みを推進することを求め、ここに決議する。

千葉県松戸市議会

健康福祉 常任委員会

議案第33号 松戸市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

現在、市内の公立保育所では電磁的記録を採用していないとのことだが、今後採用する可能性はあるか伺う。

本条例改正については、ハイブリッド方式ということで電磁的記録による保存も通常の書面による保存も可能というものであり、電磁的記録の必要性や利用者の実情に応じて対応できると考えている。電磁的記録の希望があるものに関してはセキュリティ対策をしっかりとし

た上、また個人情報に留意した上で対応していきたい。
議案第34号 松戸市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

未就学児に係る国民健康保険料の被保険者均等割額の軽減対象となる人数は。また軽減に伴う市の負担額について伺う。

令和3年6月の当初賦課時点での試算による未就学児数は、現行制度における軽減対象外が約1300人、2割軽減対象が約250人、5割軽減対象が約300人、7割軽減対象が約650人で合計約2500人である。軽減による影響額は全体で約2300万円となり、そのうちの4分の1が市の負担となることから、約600万円が市の負担と考えている。

教育環境 常任委員会

議案第40号 指定管理者の指定について（松戸市文化会館及び松戸市民劇場）

当該事業者の平成30年度から令和3年度までの実績および今後4年間の指定期間における取り組みの提案を伺う。

コロナ禍の影響により文化振興が難しい期間であったが、世界的に有名なピアノの弾き比べや施設利用料の減免等のほか、有名アーティストの公演を多数行ってきた。今後4年間の提案では、近隣の大規模商業施設へのミニバスの乗り入れの検討や、コロナ禍の感染拡大防止対策として、デジタルチケットや電子マネー等導入の提案があった。

松戸市文化会館のホール以外の施設利用率が低いことへの改善策はあるか。

WiFi環境を整え、遠隔地にいる指導者から直接指導を受けられる等、インターネットを利用した講座ができる施設としてアピールするとともに利便性向上の検討をしている。

指定管理者の指定について（松戸市穂台市民センター）

公募が望ましいと考えるが、随意指定の必要性を伺う。

穂台連合町会は、地元の穂台市民センターに強い愛着と積極的な取り組み姿勢がある。市民センターを地域の拠点として活用し、地域活動を活性化することで地域コミュニティ醸成に資することを期待している。

建設経済 常任委員会

議案第31号 松戸市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

長期優良住宅建築等計画の認定申請手数料の整備に関し、認定申請に添付する書類が適合証から確認書に変わることによって旧の手数料に差が生じているが、その理由は。

改正前の適合証では認定基準である長期使用構造等や維持保全計画、資金計画など5項目全てに登録住宅性能評価機関による審査がされていたが、改正後の確認書では長期使用構造等の1項目の審査のみとなり、残りの維持保全計画や資金計画等は行政が審査することになった。

ため手数料の増となっている。
議案第50号 和解について

新松戸けやき通り貫通路の建設工事に関し、建設差し止めを求める訴訟事件について、裁判所から出された和解案は、市側だけではなく相手側の意見もきちんと反映したものか。また令和3年12月末までに裁判が終わると聞いているが、裁判の最終に向けた市の考え方を伺う。

和解案は市と相手方で重なる協議を重ね、お互いに意見を確認しながら作成したものと認識している。裁判の最終に向けて和解案を尊重の上、今後設置される協議会の場において真摯に住民の方々と話し合いを進め、地域の皆さまに理解を得られるよう丁寧に事業を進めていきたいと考えている。

公共施設再編検討 特別委員会

議案第49号 令和3年度松戸市一般会計補正予算（第9回）

市役所のあり方・機能等検討業務委託の費用4580万円は、令和元年度に実施した松戸市必要面積算定業務委託の費用1650万円と比べ高いように感じるが、その金額の妥当性について伺う。

市役所のあり方・機能等検討業務委託の費用はワンパッケージで4580万円となっているが、本委託で取り組む内容がICT化やデジタル化と非常に親和性が高いと考えていることから、そういった業務に実績のある所から見積もりを徴している。また他自治体の同様の

ものとも比較をしているが、委託費用については一般的であると捉えている。

平成27年度、28年度にも交通量調査を実施しているが、今回予定している交通量調査との違いについて伺う。

平成27年度および28年度に実施した交通量調査は、27年6月に策定した松戸駅周辺まちづくり基本構想を踏まえ、交通基盤に係る計画検討を行うことにより事業化の推進を図ることを目的とした交通量調査である。今回予定している交通量調査は、現況調査ということで市役所に入る自動車等の道路交通量調査である。調査を実施する松戸市役所交差点は、27年度および28年度の調査には含まれていないので重複はしていない。

委員会名簿 委員会構成に変更がありました。

総務財務常任委員会	健康福祉常任委員会	教育環境常任委員会	建設経済常任委員会	議会運営委員会
委員長 飯 箸 公 明 副委員長 大 橋 博 委員 D E L I 大 塚 健 児 松 尾 尚 嗣 岩 堀 研 行 宇 津 野 史 剛 二 階 堂 由 美 諸 角 川 英 孝 小 沢 川 民	委員長 大 谷 茂 範 副委員長 大 篠 田 哲 弥 委員 中 村 典 子 岡 本 優 子 戸 張 友 子 山 口 正 子 箕 織 正 幸 市 川 一 一 深 山 居 照 康	委員長 伊 東 英 一 副委員長 石 井 勇 委員 中 西 澄 成 島 良 太 増 田 香 太 平 田 香 太 鈴 木 智 明 岩 木 麻 理 木 村 み ね 桜 井 秀 裕 人	委員長 山 口 栄 作※ 副委員長 鷹 野 聡 委員 ミ ー ル 計 恵 関 根 ジ 一 原 裕 二 高 橋 伸 之 鈴 木 大 啓 山 中 啓 之 谷 谷 剛 士 杉 山 正 祥 美	委員長 岩 堀 研 嗣※ 副委員長 諸 角 茂 範 委員 大 谷 裕 二 原 高 橋 伸 之 鈴 木 大 啓 山 中 山 由 史 宇 津 野 史 剛 二 階 堂 正 美 城 所 裕 人 末 松 裕 人

※新たな委員長、変更があった委員（令和3年12月15日現在）

新型コロナウイルス感染症拡大防止への取り組み

12月定例会においても、引き続き、換気、消毒の徹底等とともに、下記のとおり感染拡大防止策を図りました。

- 一般質問は発言時間を通常60分から25分に短縮しました。議案質疑は質疑時間を通常30分から10分に短縮しました。

意見書1件提出

地方自治法第99条の規定により国会および関係行政庁に対し、下記の意見書を提出しました。

- アルコール・インターロックの普及に向けて検討を開始することを求める意見書

一般質問

12月定例会では、12月1日・2日・3日・6日の4日間
にわたり、35人の議員が市政に関する一般質問を行いました。
その中から、主な質問と答弁の内容をお知らせします。

※議長・副議長および議会選出監査委員は、一般質問を行っておりません。

一般質問の発言時間短縮について

今定例会においても、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、
一般質問の発言時間を通常60分から25分に短縮することを議会運営
委員会で決定しました。

無電柱化の推進について

立憲民主党

公明党
松尾 尚

電柱は災害時に転倒する
などのリスクがあるだけでなく、
普段から通行の妨げとなり交通
事故の一因にもなる。令和元年
12月定例会にて電線の地中化・
無電柱化の問題を取り上げ、で
きる限り早い計画策定を要望し

たが、その後の進捗を伺う。

答 これまで庁内関係部署に
よる検討会、千葉県や電線管理
者との意見交換等を実施し、優
先的に無電柱化を推進すべき路
線の考え方や整備方式等を調査
研究してきた。また3年度に松
戸市無電柱化推進計画策定業務
委託を発注し作業を進めている。
計画策定にあたり災害時重要路
線や生活関連経路等を対象に推
進路線を選定し、本計画に基づ
き無電柱化を推進していく。

今後の新型コロナウイルス 感染症ワクチン接種について

公明党

松尾 尚

本市の3回目のワクチン
接種スケジュールについて、特
に65歳以上の方々の3回目の接
種は、2回目接種時の日時・曜
日を基準に市で予定を立てる方
が、インターネットによる不公
平感もなく、混乱も避けられる

と考えるが市の見解を伺う。

答 国の対応方針を踏まえて、
令和3年3月と4月に2回目接
種完了の方には11月末に、5月
に接種完了の方には12月末に、
また4年1月下旬には高齢者に、
3回目の接種券を順次発送する。
なお本市では65歳以上の3回目
接種に限り、2回目接種の状況
に近い会場や日時を市があらか
じめ決め、都合の悪い場合は連
絡をいただき、会場や日時を調
整する方法を考えている。

高齢者の 外出支援について

公明党

諸角 由美

現在、実施されているグ
リーンスローモビリティの運行
調査状況から、導入に向けた課
題と今後の計画について伺う。

答 課題としては、一度利用
した方はその後も活用する一方
で走行期間やルートが限定され

ているため、新たな利用者が少
ないことである。また継続して
いくには車両や運転手の確保の
ほか、国等の助成金の財源確保
などさまざまな検討事項がある。
このことを踏まえ全市民的に展
開すべく、事務局を福祉長寿部内
に設置しグリーンスローモビリ
ティの本格導入に向けた庁内横
断プロジェクトチームを立ち上
げ、今後も多角的に地域を支援
し、地域主体のモデルを醸成し
たいと考えている。

マイナンバーカードの 申請促進について

公明党

鈴木 智明

マイナンバーカードの申
請促進にあたり、巡回支援や出
張支援による申請サポートを実
施できないか見解を伺う。

答 マイナンバーカードにつ
いては、交付体制を充実するこ
となどにより交付枚数の拡大に

努めているが、国が示す「令和
4年度末までにほぼ全国民に行
き渡ること」を目指す観点から、
さらなる取り組みを実施する必
要があると認識している。市民
にとって利便性の高い場所や生
活に身近な場所、市民が多く集
まる場所などに出向き、出張申
請サポートを実施することで、
市民の申請機会の拡大を図ると
ともに申請件数の増加につな
がることが期待されるため前向き
に検討を進めていきたい。

新松戸駅東側地区土地区画 整理事業の意向調査について

市民力・立憲民主党

岡本 優子

平成31年3月13日に行わ
れた建設経済常任委員会におい
て、当該土地区画整理事業を進
めることの賛否について、地権
者に「賛同する」「賛同しない」
の2つから選択していただいた
という報告であったが実際に意

向調査は何パターンあり、また
その中で回答の選択肢は何項目
あったのか伺う。

答 意向調査については全て
の意向調査票が本事業を市施行
で進めることについて何ったと
ころであるが、一部の権利者よ
り大勢に従いたいとの強い意向
が示されたため、その方々に限
り回答の選択肢を加えたところ
である。そのため「大勢による」
の回答は、多数意見として集計
したところである。

子どもたちのよりよい 教育システムの構築について

市民力・立憲民主党

中西 香澄

平成22年松戸市長選挙で
市長が掲げたマニフェストの項
目6には「少人数学級の促進」
とある。マニフェスト達成のた
めにも、令和4年度に小学校4
年生の35人以下学級を実施でき
ないか伺う。

答 本市の学級編成は平成22
年度に小学校1年生、23年度に
2年生、29年度には3年生が35
人学級となり、今後、4年生は
令和5年度から、5年生は6年
度から順次35人学級となり、7
年度には小学校全学年において
35人学級となる。松戸市では国
や千葉県の通知にのっとり学級
編成を行っているため、
4年生については4年
度に35人学級を実施す
る予定はない。

道路の安全対策について

公明党

伊東 英一

仲井町交差点から天神山
住宅までの道路は幅が狭く、松
ヶ丘小学校の通学路で、みやこ
幼稚園に通う園児の通り道でも
あるが、千葉県八街市の事故を
受け、松ヶ丘小学校から改善要
望が出ていると聞いている。当

該場所にどのような対策をとる
のか考えを伺う。

答 当該路線は八街市の事故
を受け令和3年8月に実施した
通学路合同点検の結果、松ヶ丘
小学校から「学童注意」の路面
標示を2カ所設置する要望を受
け、年内に設置完了の予定であ
る。また既存の「歩行者注意」
「とびだし注意」の路面標示も
一部薄くなっているため引き直
しも実施する。交通状況を注視
し安全対策に努めていく。

放課後児童クラブについて

市民力・立憲民主党

山中 啓之

学校敷地内において、設
置移行時の留意点は、また敷地
内に埋まっているタイムカプセル
について、卒業生への配慮を
行ったのか伺う。

た児童数を基に状況を確認し、
既存施設の面積が不足する場合
には教育委員会と協議しながら、
余裕教室等の利用を学校等と協
議している。それが困難な場合
には学校敷地外の施設の一時的
な借用等も併せ検討する。また
敷地内の新規建設にあたり、教
育財産であることか
ら教育委員会等と協
議の上、記念埋蔵物
等の情報も学校に確
認し対応している。



新拠点ゾーン市役所移転について

まっど未来クラブ

桜井 秀三

問 新拠点ゾーン市役所移転について①駐車場の適正台数の考え方②市役所移転予定地の土留めの計画と費用③現地建て替えとの比較について、市の考えを伺う。

答 市役所機能の再編整備に

ついては、今後、過去の委託調査の結果などを踏まえつつ「庁舎のあり方・機能」に関する検討を行っていききたい。①附帯設備に関する検討の中で、適正な台数等を精査していききたい②新庁舎の配置等に関する検討を踏まえ、適切な斜面処理について検討していききたい③さまざまな検討の結果を基に、公共施設再編検討特別委員会の場合などで報告し、具体的な議論を行っていききたい。

千駄堀口バス停近くの交差点の改良について

公明党

篠田 哲弥

問 千駄堀口バス停近くの交差点について警察からの要請により、本市で当交差点への信号機設置に伴う交差点改良の委託設計が進められていると聞いているが、今後の進捗を伺う。

答 当該交差点には横断歩道

はあるが信号機が無く、交通管理者である警察において押しボタン式信号機の設置を計画している。本市では信号機設置に伴い警察の要請を受け、令和3年度に交差点の設計委託業務に着手し、併せて千葉県公安委員会と交差点の形状変更に伴う協議を進めている。進捗状況については、3年度に設計委託業務を完了させ、4年度末までに交差点の改良工事と警察による信号機設置の完了を目指している。

ヤングケアラーの支援の拡充について

公明党

岩瀬 麻理

問 市内小中学校、市立高等学校におけるヤングケアラーの状況と周知の仕方は。また本庁舎内への相談窓口設置や支援マニュアル作成等について伺う。

答 ヤングケアラーは児童虐待や長期欠席に関わる報告で発

見されることもあり、疑いがあるれば丁寧に児童生徒の話を聴き、状況把握に努めている。また必要に応じてスクールソーシャルワーカーが市長部局の福祉分野につきなど連携を強化していく。支援マニュアルは市独自のものはないが、国のガイドラインを関係機関と共有し必要に応じて連携して支援にあたっている。相談窓口の設置等は国の動向を注視しながら先進市の取り組み等を参考に研究していききたい。

市立総合医療センターへのWiFi整備について

立憲民主党

関根 ジロー

問 コロナ禍では、ますます病室へのWiFi整備を求めている声が高まっていると思われるが、市立総合医療センターへのWiFi整備の検討状況について伺う。

答 WiFi整備の課題で

あった医療機器への影響について、場所を限定することでサービス提供が可能と確認されたため、段階的に整備を図ることにした。特に新型コロナウイルス感染症で入院している方は病室から出られないため、不安を和らげるべく優先して令和2年9月より、希望者にWiFiサービスを提供を開始した。3年度中には一般病棟の全病室で、WiFiが利用できるよう準備を進めている。

歩道整備について

無所属

箕輪 信矢

問 みのり台駅前から和名ヶ谷交差点方面に向かう歩道について、令和3年度の工事をどのように進めていくのか伺う。

答 当該道路は2年度に側溝

ふたの掛け替えや歩道の舗装打ち替え工事に着手し、整備総延

長約200メートルのうち歩行者の通行量が特に多い約140メートルを当初予定していた整備区間より延長し実施したところである。3年度においては、残りの約60メートルの整備に着手し年度内の完了を目指して行く。また工事の実施にあたっては2年度と同様、地元町会・商店会、沿線の皆さまに協力をいただきながら進めていききたい。



戸定邸の保全について

松政クラブ

鷹野 聡

問 戸定邸の①防火体制②修繕に対する文化庁の補助内容は。③戸定歴史館の博物館としての実績、課題、今後の方針を伺う。

答 ①戸定邸は、国宝・重要

文化財（建造物）等の防火対策ガイドラインに85%準拠できて

おり、できていない項目は耐震性の確保等である②文化財保存事業費補助金は、耐震性の確保を進める際には活用を考慮している③令和3年度実績の一例では、徳川昭武の生涯を紹介した図録の改訂がある。学芸員の配置が1人であるため、展示や対外的対応等もあり資料の整理や考証が進まない等課題がある。組織的な応援体制の構築等、課題を整理し、最重要課題である学術的業務の充実を図っていききたい。

地域共生社会の実現に向けた取り組みについて

公明党

織原 正幸

問 高齢者の単独世帯の増加や新型コロナウイルス感染症拡大等により社会全体つながりが希薄化し、孤独や孤立の問題が顕在化してきている。誰一人取り残さない地域共生社会の実現のため、今後、地域のあらゆる

世代の方々が気軽に利用し、集える場所の創出が重要になってくると考えるが、本市の認識を伺う。
答 市民の誰もが気軽に利用できる居場所を創出することは、人と人、人と地域が関わる機会が生まれることにつながり、地域でお互いを気に掛け合える意識の醸成や地域の中での孤立を防止し、一人も取り残さない地域共生社会の実現に向けて、重要な事業であると認識している。

市営住宅について

公明党

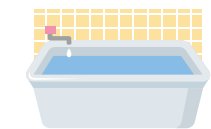
城所 正美

問 入居時の初期費用軽減のため公費負担で計画的に風呂釜・浴槽の設置ができないか伺う。

答 浴室設備は居住水準の向上に伴い必要性が増していること

から、小金原併存市営住宅をモデルケースとし順次設置をし

ている。浴室設備の設置には15万円から20万円前後かかるため入居者には大変な負担となる。市営住宅に入居される方は住宅に困窮する低所得者であり、また一般家庭の風呂普及率もほぼ100%であることから、今後は退去のあった部屋から順次設置を進めるとともに、計画的な整備については先例市を参考に実施に向けた調査研究を行っていく。



松戸市のスポーツ振興について

市民クラブ

市川 恵一

問 本市でも豊富な自然資源である河川を利用してカヌーを始める人や楽しむ人が増えた。スポーツとしてのカヌーを推進し、カヌーを競技として成長させるために子どもたちに浸透させる必要があるが、学校教育の

視点も含めた市の考えを伺う。
答 市内の河川は江戸川、坂川、新坂川等と多く、松戸市カヌー協会による千葉県知事杯クラブ対抗カヌー競技大会等の活動や、小金地区の世代交流会での体験会等は市のスポーツ振興に大変寄与している。教育の視点からは令和3年度に新松戸南小学校でカヌー体験教室を実施したが、今後新たな部活動の運営方法についてカヌー競技も候補の一つとして検討していく。

「市長への手紙」の取り扱いについて

立憲民主党

戸張 友子

問 市民から市長宛てに届いた手紙の取り扱い方法と受付後に受領通知を行う考えを伺う。

答 いわゆる市長への手紙という制度の運用は、市民の皆さまから市長への意見や要望を受け取る手段として、市長メール、

投書等がある。このほか郵便にて送付される市長への意見は、本庁や出先機関等さまざまな部署に届くものもある。その場合は秘書課に送付され市長が目を通して内容により市長から指示を受けることもある。本市としては、市民一人一人の声に耳を傾け、市政運営を行うことは大変重要であると認識しており、今後も市民の皆さまからいただいた意見や要望に対しては、迅速かつ丁寧な対応に努めていく。

農業委員会の農地パトロールについて

政策実現フォーラム

増田 薫

問 市内の農地面積・遊休農地面積それぞれの推移および農地パトロール方法について伺う。

答 農地の適正な保全管理を促すため、農地法に基づき、市街化調整区域は農業委員会の農業委員、農地利用最適化推進委

員、事務局職員が農地パトロールを毎年実施している。市内の農地面積は、令和元年度669ヘクタール、2年度660ヘクタール、遊休農地面積は、元年度末11・7ヘクタール、2年度末6・4ヘクタールである。また解消されない農地所有者には文書により年2回保全管理をお願いしている。遊休農地化は周辺農地への影響も懸念されるため、今後も農地パトロールを継続し遊休農地解消に努めていく。

総合政策会議について

政策実現フォーラム

DELLI

問 総合政策会議の議事録や内容のわかる議事概要は存在するのか。もし議事録などがある場合、開示請求の際になぜ一部を黒塗り等にするのではなく、議事録や議事概要などを開示しなかったのか伺う。

答 総合政策会議の概要はあるが、内容のわかる議事録や議事概要は存在せず、会議の運営にあたり、内規である「総合政策会議等運営要領」には事務局において会議録を作成するとあり、また会議録には件名および結果について記録するとしている。開示請求をきっかけとして、総合政策会議の概要に結果も明記し、内規に定める会議録の要件を満たすよう、あらためて事務の徹底を図ったところである。

水害について

公明党

飯箸 公明

問 水害被害を防ぐためにはIoTを活用し、市民の命を守る取り組みを導入すべきと考えますが、市の見解を伺う。

答 IoT技術を活用した監視システムとして、河川施設は江戸川や坂川等について国・千

葉県の監視カメラ映像や水位情報を共有し、市管理の雨水貯留池や準用河川等21カ所も治水監視システムで遠隔監視している。道路施設は6カ所のアンダーパスに道路情報提供装置を設置し冠水時に「通行止め」表示をしている。さらに浸水被害を防ぐ新たな対策として、目視しやすしい路側式LED表示板やメール通知機能を用いた関連部局との通信システムの構築について具体的な検討を進めている。

公園整備について

日本共産党

ミール 計恵

問 土地区画整理事業が実施されていない地域では公園が少なく、こどもの遊び場の急速な宅地化などにより、子どもが自由に遊べる場所が減っている。栄町西地域をはじめとする市内の公園の少ない地域に、公園を

早急に整備すべきと考えますが市の考えを伺う。
答 都市公園等の地域におけるオープンスペースの必要性は認識しており、栄町西地域については、いくつかの生産緑地が公園用地としての適性を備えているため、候補地として検討している。公園の適正配置は現在策定中の次期みどりの基本計画でも重点的な施策と考えており、整備の優先順位や効率的な整備手法を検討しながら進めていく。

常盤平第一小学校の今後について

松政クラブ

小沢 曉民

問 学校周辺の人口減少と少子化が重なり小学校の入学者数の減少を危惧している。この現状をどのように捉えているか。また今後の対策を伺う。

答 当校では小規模のメリットを最大限に生かした個に寄り

添う指導の充実を挙げ「学びの松戸モデル」の研究指定校として地域と連携しつつ学習を進めている。また少人数だからこそ可能な活発な異学年交流などもメリットの一つである。小規模化する学校は当校に限らず市全体としてさまざまな工夫や対策が必要であると認識しており、各学校の児童数の推移を注視しながら、新たな発想でまちづくりの視点を持ち、あらゆる可能性を探りたいと考えている。

保育施策について

日本共産党

山口 正子

問 2021年度における保育施設ごとの整備状況は。また2022年度4月に向けた待機児童解消の取り組みと小規模保育施設卒園児数を伺う。

答 2021年10月末時点の整備状況は、小規模保育施設9

カ所、0歳から5歳児の保育所1カ所、既存施設を改修した3歳から5歳児の保育所1カ所の整備が決定している。また待機児童解消に向けた取り組みは、0歳から2歳児については保育需要の分析を行い、需要が多いと思われる地域に小規模保育施設を整備していく。11月現在、小規模保育施設には、2歳児が639人在籍しているため、卒園児童の対応は、特に幼稚園の預かり保育利用を促進していく。

救急医療情報キットについて

まつど未来クラブ

鈴木 大介

問 東部地区では交付金を活用し救急医療情報キットを各世帯に配布するようだが、同キットはどのようなものか。また本市で似たような取り組み等があるのか伺う。

答 救急医療情報キットとは、

医療情報等を記載した用紙を筒などに入れ冷蔵庫等に保管し、保管場所を知らせるシールを冷蔵庫の扉等に貼ることで救急活動時等にスムーズに対応できるようにするものである。日本赤十字社では地区社会福祉協議会に購入費の一部補助を行っており、本市ではながいき手帳の巻末に救急安心カードを掲載し、記入後に冷蔵庫等に貼ったり、携帯することができるとしている。



停電への備えについて

政策実現フォーラム

原 裕二

問 避難所について現状の停電対策は。また太陽光発電設備等を設置する考えは。さらに公用車の電気自動車化とVtoH（ビークルトゥホーム）の設置は、災害時の停電対策になると考えるが市の見解を伺う。

答 停電対策については各避難所の分散備蓄倉庫に配備しているガソリン等を燃料とする発電機で対応するほか、千葉トヨタ自動車株式会社との協定に基づき給電システム付きハイブリット自動車等の貸与を受け、対応する。太陽光発電システムや給電システム付きハイブリット自動車の活用は有効だと認識していることから、周辺自治体の状況等を調査研究するとともに施設管理者と連携していきたい。

児童・生徒数の学校間格差と 学校選択制について

日本共産党

平田 きよみ

問 小中学校の児童生徒数や学級数の格差の現状と、学校選択制の影響によって生じた学齢簿の人数との比較で最大の増減人数は。また学級規模の格差に選択制が影響していると考えられるが市の見解を伺う。

答 小中学校の規模は学区の児童生徒数や学校施設の大きさ等で大小が生じるもので、格差とは考えていない。学校選択制による児童生徒数の増減は令和2年度の学校選択制申請時の数で、小学校は最大18人増加25人減少、中学校は123人増加71人の減少である。学校選択制の受け入れ可能人数は児童生徒数や各校の施設状況等によるため学校選択制が学校規模に影響するとは考えていない。

国民健康保険の 特定健康診査について

立憲民主党

二階堂 剛

問 本市は全国、千葉県受診率に比べ低い状況が続き、さらに新型コロナウイルス感染症の影響により受診率が低下しているが、今後の受診率向上に向けた取り組みについて伺う。

答 平成30年度から勧奨通知

を送付する人工知能(AI)を活用した受診率向上事業により効果をあげている。また令和2年度からは医師会の協力により、かかりつけ医から患者への受診勧奨を推進し、治療中でも生活習慣を意識し改善に取り組むきっかけになると期待されている。今後も国や県の受診率より低い状況からの脱却を目指し、受診率低迷の分析を行うとともに、他市の先行事例も研究しつつ受診率向上対策を継続していく。

古ヶ崎放課後児童クラブ 夜間受け入れについて

松政クラブ

石井 勇

問 この新規事業について、子育てに関わる団体・協議体とどのような協議がされたか。またその中で出された意見を伺う。

答 子ども子育て会議において質問があり、試行であることや利用状況、今後の方針を説明

した。その中で子どもの健やかな成長のための考えと支援が必要、試行で安心した、学校生活に影響しないよう子ども目線で考えてほしい等の意見があった。またその他民間団体から、社会的インフラとして必要と考える等の意見があり、方向性はおおむね理解を得られたと認識している。今後は、議員、子ども子育て会議等での意見、関係団体や利用者等さまざまな意見を参考に慎重に進めていきたい。

がん検診について

市民クラブ

深山 能一

問 前立腺がん検診(PSA検査)導入の進捗状況を伺う。

答 全国がん登録罹患データによると前立腺がんは2018年男性の部位別がん罹患患者数第1位で増加が続いており、さらに市民からの要望や既に検診を

実施している他自治体の状況を踏まえると、本市においても前立腺がん検診のニーズがあると考えている。また医師会からも導入について要望があり、意見交換を行っている。以上のことから、前立腺がんの検査であるPSA検査は現在、国が定める市町村が実施する検診として示されていないが、早期診断をすすめる上で有用な検査であるため、市民に受診の機会を提供できるように前向きに検討を進めていく。

東松戸病院・梨香苑の 存続について

日本共産党

宇津野 史行

問 市長が市民説明会に出席できない理由を「公務」としていたが本当に公務はあったのか。また説明会は「市民の理解を得るための説明会」という認識であったのか。そして理解は得られたと考えているのか伺う。

答 説明会について東部地区の町会長・自治会長に相談した結果、3会場・全5回に分けての実施としたことから公務の調整が非常に難しい状況となった。説明会は内容に東松戸病院の廃止が含まれることから、病院周辺地区の住民を対象に現状の理解を深めていただくことを目的として開催したものである。参加者からしっかりと意見を伺う時間を設け、丁寧に説明・回答をしたと認識している。

通学の安全対策について

松政クラブ

大谷 茂範

問 千葉県八街市の事故後、国・県・市も早急に動き、通学路の危険箇所を調査し、安全対策を講じている。児童生徒の登下校の安全を支える社会環境が大きく変化している中で、スクールバス制度導入の検討を進め

るべきと考えるが市の見解は。答 令和3年7月12日から8月6日に実施した通学路の合同安全点検等の結果を基に、登下校中の児童生徒の安全確保を進めている。本市は地域的に利便性が高く、児童生徒の通学距離は比較的短いと認識している。スクールバス導入の検討は行っていないが、登下校中の児童生徒の安全対策について、随時検討しながら国・県の動向を注視し情報収集に努めていく。

公園再整備計画について

松政クラブ

杉山 由祥

問 東京五輪大会以降スケートボードの競技人口は激増し、路上等での事故や騒音トラブルが多発している。そこで緊急的にある程度大きい公園にスケートボード場を確保できないか。

市民の皆さまの興味や関心が高まり「スケートボードはどこまでできるのか」施設をつくってほしい」といった問い合わせや要望が多く寄せられている。一方では苦情も増えており、主にスケートボードの着地音などの騒音である。このため住宅地内にある多くの公園における場所の確保は困難と考えている。そこで市内のいずれかの公園にスケートボードができる場所が確保できないか、検討を進めている。

ひとり親世帯への支援 について

まっど未来クラブ

中村 典子

問 公正証書作成費用の助成について、予算措置されている額に達した場合の対応と情報発信をわかりやすく改善する考えは。また住宅支援の考えを伺う。

成を開始した。申請件数が想定を超える場合は、柔軟な対応を行い、支援の継続を考えている。情報発信について充実できるよう努めていく。また市営住宅においては、ひとり親世帯を含めた住宅確保要配慮者の居住の安定確保は、重要な課題であると認識しており、入居を拒否しないセーフティネット制度の登録を促進している。今後、有効な支援策について居住支援連絡会議等を通じて協議していく。

松戸駅周辺の目指す まちづくりについて

まっど未来クラブ

大橋 博

問 都市再生緊急整備地域に指定された、松戸駅周辺における魅力創出の方策として、エリアマネジメントの展望を伺う。

答 エリアマネジメントによる事業の実施は大変重要と考えており、住民や地権者、民間事

業者等の担い手による取り組みが必要不可欠であることから、庁内関連部署によるプロジェクトチームを立ちあげた。今後プロジェクトチームの中で松戸駅周辺のエリアマネジメントの取り組みや公共空間の活用等について、行政と民間が協力して進めるための仕組みづくりを検討し、松戸駅周辺のにぎわいや魅力づくりを進めたいと考えている。



3月定例会の開催予定

令和4年松戸市議会3月定例会は、2月24日(木)から3月25日(金)まで、いずれも午前10時より開催する予定です。請願・陳情は、2月14日(月)正午が提出期限です。

日程	主な内容
2月24日(木)	招集日・本会議(施政方針・議案提案理由説明)
25日(金)	常任委員会(先議議案審査)
3月2日(水)	本会議(先議議案採決)
3日(木)	〃(一般質問)
4日(金)	〃(一般質問)
7日(月)	〃(一般質問・議案質疑)
8日(火)	総務財務常任委員会
10日(木)	健康福祉常任委員会
11日(金)	教育環境常任委員会
14日(月)	建設経済常任委員会
15日(火)	予算審査特別委員会
18日(金)	〃
22日(火)	〃
23日(水)	〃
25日(金)	本会議(議案等の採決)

議会傍聴について

傍聴についてはお問い合わせいただくかホームページでご確認ください。

●お問い合わせ先 市議会事務局庶務課
TEL 047(366)7381

※このほか随時、委員会が開催される場合があります。また開催予定が変更となる場合もありますので、ホームページ等でご確認ください。

人事案件

公平委員会委員の選任および人権擁護委員候補者の推薦に同意しました。(敬称略)

●公平委員会委員

なか がわ ゆう いち ろう
中 川 裕一郎

●人権擁護委員候補者

やま ぐち つとむ
山 口 勤

えん どう まさ ひこ
遠 藤 雅 彦

よこ た しゅう こ
横 田 周 子

会派別一覧

会派構成に変更がありました。松戸市議会では、3人以上で構成する団体を会派としています。

<p>公明党 10人</p> <p>◎城所正美 ○諸角由美 篠田哲弥 鈴木智明 松尾尚理 岩瀬麻之 高橋伸之 伊東英一 飯箸公明 織原正幸</p>	<p>松政クラブ 8人</p> <p>◎大谷茂範 ○大塚健児 鷹野聡 石井勇 杉山由祥 木村みね子 田居照康 小沢暁民</p>	<p>市民クラブ 6人</p> <p>◎末松裕人 ○深山能一※ 渋谷剛士 岩堀研嗣 山口栄作 中川英孝</p>	<p>日本共産党 4人</p> <p>◎宇津野史行 ○平田きよみ ミール計恵 山口正子</p>
<p>立憲民主党 4人</p> <p>◎関根ジロー※ ○二階堂剛※ 成島良太 戸張友子</p>	<p>まつど未来クラブ 4人</p> <p>◎大橋博 ○鈴木大介 中村典子 桜井秀三</p>	<p>政策実現フォーラム 3人</p> <p>◎原裕二※ ○DEL I※ 増田薫</p>	<p>無所属</p> <p>箕輪信矢</p>
			<p>無所属</p> <p>市川恵一※</p>

(令和3年12月15日現在)

議員定数 44人

◎ 幹事長 ○ 副幹事長
※ 新たな幹事長・副幹事長・変更があった議員

声の議会だよりをご利用ください

松戸市障害者福祉センターでは、松戸朗読奉仕会の協力により、「議会だよりを音声化したCD」の貸し出しを行っています。

市内在住の障害者手帳(視覚障害)をお持ちの方で、CDの貸し出しをご希望される場合には、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

●問い合わせ先
松戸市障害者福祉センター(ふれあい22内)
TEL 047(383)7111
住 所 松戸市五香西3-7-1



次回発行予定は5月1日(日)です

議会だよりの編集を担当しています
広報委員会

※変更があった委員

委員長 鈴木智明
副委員長 鷹野澄
委員 中野典子、中村友子、戸張子、D E L I、篠田健児、大塚正幸、山原正幸、織原正幸、山口栄一



編集の窓

新型コロナウイルス感染症が世界的に猛威を振るい、感染症から身を守るための生活様式が求められてから間もなく2年が経過しようとしております。本市におきましてもワクチン接種は進んできておりますが、新たな変異株の出現などを考えますとまだまだ予断を許さない状況です。

市議会におきましても社会環境や経済情勢等の変化により、新たに生じる課題に適切かつ迅速に対応することが必要であると考えております。

広報委員会では、市民の皆さまに広く周知するためにも、わかりやすく伝わるよう広報の充実に努めていきたいと思っております。

本年もよろしくお願いたします。

松戸市議会の情報をホームページで公開しています

松戸市議会

本会議の様子は「インターネット議会中継」でご覧いただけます。また過去の会議録も公開しています。

議会中継

マチイロ

スマートフォン・タブレット用アプリ「マチイロ」を利用して議会だよりを配信しています。アプリは無料でダウンロードできます。詳しくは市ホームページをご覧ください。